



春興

三河吉田

二日月鐘し初日の軍さし茶筵
 妻両方國の繪蓋より玉る昔 見竜
 下前やうつれ床しおのし 魯石
 中一は柳の甲より老家哉 石羊
 針箱より入る暇さきれ 南洲
 加茂川の一里隔るくぬききり 木朵
 室引やゆれよりききれ 免堂
 初摺りきりも 二つせれ合 古帆
 山精活やおもしろい 兼煮りきり ^女 里代
 夕ま師旅ひるきぬ 月 葛雨
 鶯や初音を梅の宮居く 寒石
 うらみ六尾ぬおれさし 五芳
 まやちれ手し電報きき若菜哉 李成
 けりさきや梅枝より上簾にし 相茂

